



MCA アドバンス

LEX L11j無線機取扱説明書

© 2019 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved

著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータプログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータプログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。従って、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータプログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

© 2019 Motorola Solutions, Inc. 無断複製、転載を禁じます。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

さらに、Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許アプリケーションの対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

免責条項

一部のシステムに対して、このマニュアルで説明する機能、設備、性能が適用されない、またはライセンスされない場合があります。また、無線機ユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する場合があります。詳しくは、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

商標

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、および Stylized M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、許可の下に使用されます。その他すべての商標は、個々の商標権者に帰属します。

欧州連合 (EU) 電気および電子機器リサイクル法 (WEEE) 指令



欧州連合の WEEE 指令では、EU 諸国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) にゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。

WEEE 指令で規定されるとおり、このゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国の顧客とエンド ユーザーが、電気と電子装置またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国の顧客またはエンド ユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の販売代理店またはサービス センターに問い合わせる必要があります。

お問い合わせ

Solutions サポート センター (SSC) は、Motorola Solutions との組織のサービス契約に含まれているテクニカル サポートの主要連絡先となります。

サービス契約のお客様は、契約内のお客様の責任に記載されているすべての状況 (たとえば、次のような状況) になった場合は、必ず SSC に連絡してください。

- ソフトウェアをリロードする前。
- 操作を実行する前に、トラブルシューティングの結果と分析を確認する。

組織には、地域およびサービス契約に適切なサポート電話番号およびその他の連絡先情報が提供されています。その連絡先情報を使用するのが最も効率的な対応です。ただし、必要に応じて、Motorola Solutions の Web サイトで一般的なサポート連絡先情報を、次の手順: に従って検索することもできます。

- ブラウザで、[「motorolasolutions.com」](https://motorolasolutions.com) と入力します。
- 組織の国または地域がページに表示されていることを確認します。地域の名前をクリックするかタップすると、地域を変更することができます。
- motorolasolutions.com ページで「サポート」を選択します。

コメント

ユーザー マニュアルに関するご質問やご意見は、documentation@motorolasolutions.com までお送りください。

マニュアルの不備を報告する場合は、次の情報を提供してください。

- マニュアルのタイトルと部品番号。
- 不備のあるセクションのページ番号またはタイトル。
- 不備の説明。

文書履歴

バージョン	説明	日付
MN005792A01-A	『LEX L11j ミッションクリティカル LTE デバイス ユーザー ガイド』のオリジナル リリース	2019 年 5 月
MN005792A01-B	軽微な更新。	2019 年 7 月
MN005916A01-C	Android Pie 関連コンテンツの更新。	2019 年 8 月
MN005916A01-D	MCAアドバンス機能の記載更新。	2021 年 5 月

目次

著作権.....	2
お問い合わせ.....	3
文書履歴.....	4
図の一覧.....	7
このマニュアルについて.....	9
本書の内容.....	9
役立つ背景情報.....	9
関連情報.....	9
重要な安全情報.....	11
サービス情報.....	11
法規制に関する情報.....	11
バージョン.....	14
表記規則.....	14
アイコン表記.....	14
1章: はじめに.....	15
1.1 デバイスの概要.....	15
1.2 パッケージの内容.....	17
1.3 デバイスの設定.....	18
1.3.1 デュアル SIM 機能.....	18
1.3.2 SIM カードの挿入.....	18
1.3.3 SIM カードの取り外し.....	18
1.3.4 microSD カードの取り付け.....	19
1.3.5 microSD カードの取り外し.....	20
1.3.6 バッテリーの取り付け.....	20
1.3.7 バッテリーの取り外し.....	20
1.3.8 バッテリー カバーの取り付け.....	21
1.3.9 バッテリー カバーの取り外し.....	21
1.3.10 アンテナの取り付け.....	22
1.3.11 アンテナの取り外し.....	22

1.4	電源オン	23
1.5	電源オフ	23
1.6	デバイスの再起動	23
1.7	充電情報	23
1.7.1	バッテリー充電インジケータ	23
1.8	ステータス バーのアイコン	25
2章	無線	26
2.1	Bluetooth モード	26
2.2	Bluetooth の有効化	26
2.3	Bluetooth の無効化	26
2.4	デバイス名の変更	26
2.5	LEX と Bluetooth デバイスのペアリング	27
2.5.1	Bluetooth デバイスの管理	27
2.6	Wi-Fi ネットワークへの接続	27
	新規ネットワークの追加	28
	ネットワークの編集	28
	ネットワークの切断	28
2.7	Wi-Fi ホットスポットの設定	28
2.8	Bluetooth テザリングの有効化	29
2.9	機内モードの開始	30
3章	メンテナンスとトラブルシューティング	31
3.1	LEX デバイスの保守	31
3.2	バッテリーの安全に関するガイドライン	31
3.3	クリーニングのガイドライン	32
3.3.1	デバイスの外側のクリーニング	33
3.3.2	インタフェース コネクタのクリーニング	33
3.3.3	バッテリーの接点のクリーニング	33
3.4	LEX デバイスのリセット	34
3.5	トラブルシューティング	35
付録 A	Bluetooth プロファイル	37
付録 B	技術仕様	39

図の一覧

図 1: LEX L11j の概要.....	15
図 2: LEX L11j 上部.....	16
図 3: LEX L11j サイド ボタンの概要.....	17
図 4: MicroSD カードの挿入.....	19
図 5: LEX L11j バッテリ カバー.....	21
図 6: バッテリ カバーの取り外しスロット.....	21
図 10:[Wi-Fi ホットスポット] メニュー.....	29

表の一覧

表 1:Motorola のマニュアル.....	10
表 2:Motorola Solutions のアクセサリとエネルギーに関するマニュアル	10
表 3:LEX L11j の背面および前面	15
表 4:LEX L11j 上部.....	16
表 5:LEX L11j サイド ボタン	17
表 6:LEX L11j 通知 LED.....	24
表 11:ステータス バーのアイコン	25
表 14: LEX デバイスのトラブルシューティング	35
表 15: Bluetooth プロファイル	37
表 16: 技術仕様.....	39

このマニュアルについて

このガイドでは、LEX L11j ミッションクリティカル LTE デバイス、その基本的な機能の使用について説明します。

画面およびメニュー オプションは、代理店により異なる情報を表示するように変更またはカスタマイズされている場合があります。

本書の内容

本書は、次の章で構成されています。

- 「[はじめに](#)」では、LEX デバイスを初めて起動および実行する際の手順: について説明します。
- 「[メンテナンスとトラブルシューティング](#)」では、LEX デバイスに関連する一般的な問題の解決方法について説明します。
- 「[Bluetooth プロファイル](#)」では、LEX L11j デバイスで使用可能な Bluetooth プロファイルについて説明します。
- 「[技術仕様](#)」では、LEX デバイスの技術的な詳細について説明します。

役立つ背景情報

Motorola Solutions では、システムの習得を支援するためのさまざまなコースを提供しています。

最新のコース内容およびテクノロジー パスの詳細については、

<http://www.motorolasolutions.com/training>を参照してください。


関連情報

次の文書を確認することをお勧めします。

特に指定がない限り、ここに記載されている Motorola Solutions の文書は、

<https://learning.motorolasolutions.com> のログイン アカウントを持つユーザーが利用できます。

[カタログの検索] フィールドに「LEX」と入力すると、LEX デバイスのマニュアルを検索できます。

デバイスのホーム画面で **[LEX Docs]**  をタップして、デバイスのマニュアルにアクセスすることもできます。 [Motorola Solutions 学習ポータル](#) にリダイレクトされます。このポータルでは、LEX のマニュアルをダウンロードして表示することができます。

保証条件の詳細については、<https://www.motorolasolutions.com> のサポート ページを参照してください。地域の適切なサポート ページにアクセスする方法については、「[お問い合わせ](#)」を参照してください。

表 1:Motorola のマニュアル


関連情報	目的
『LEX L11j ミッションクリティカル LTE デバイス クイック スタート ガイド』	SIM カードとバッテリーの取り付け、および USB-C ケーブルを使用した充電を含む、LEX L11j ミッションクリティカル LTE デバイスの物理的なセットアップの初期タスクについて説明します。  注記: Motorola Solutions から入手可能な充電器アクセサリについては、お使いのデバイスの技術者またはデバイス管理者にお問い合わせください。
ミッション クリティカルな機器に関する RF エネルギー被曝トレーニングおよび製品安全性情報	ミッション クリティカルな機器を安全に使用方法について説明します。
『LEX L11j Mission-Critical LTE Device Service Provisioning and Management Guide』	ユーザーと組織が必要とする構成を使用して、ブロードバンド ネットワーク上の LEX L11j デバイスをアクティブにするための手順: をフィールド技術者に説明します。

表 2:Motorola Solutions のアクセサリとエネルギーに関するマニュアル

文書	目的
MN004688A01 『LEX L11j Holster User Manual』	ホルスタの使用方法を説明したユーザー ガイド。
MN003440A01 『LEX L11j Multi Unit Charger User Manual』	マルチユニット充電器の使用方法を説明するユーザーガイド。
MN003922A01 『LEX L11j Multi Unit Charger Safety Leaflet』	LEX L11j 充電器キットについて説明した安全情報に関するリーフレット。
MN004263A01 『LEX L11j IMPRES 2 Adaptive Unit Charger User Guide』	IMPRES 2 適応型ユニット充電器の使用方法を説明するユーザー マニュアル。
MN004594A01 『LEX L11j IMPRES 2 Dual Or Single Unit Chargers Safety Leaflet』	IMPRES 2 デュアルまたはシングルユニット充電器を説明する安全性リーフレット。

重要な安全情報

ミッション クリティカルな機器に関する RF エネルギー被曝トレーニングおよび製品安全性情報。



注記:

注意! このミッション クリティカルな機器は、業務用の利用に限定されています。本ミッションクリティカル機器をご使用になる前に、『*RF Energy Exposure Training and Product Safety Information for Mission Critical Devices*』マニュアルをよくお読みください。安全にお使いいただくための取り扱い方法と、電磁波エネルギーについての重要な説明が記載されています。また、電磁波エネルギー被曝限度についての該当基準および法規制に対する適合情報も記載されています。この装置は、米国政府の連邦通信委員会が定める無線周波数 (RF) エネルギーの被曝制限を超えないように設計および製造されています。このデバイスを装着して使用する場合、このデバイスは、このデバイスとともに販売されている Motorola Solutions, Inc. の承認済みアクセサリを使用する場合についてテスト済みであり、FCC RF 被曝ガイドラインを満たしています。

Motorola 認定以外の装着用アクセサリまたはバッテリー アクセサリを使用した場合、電磁波被曝が該当するガイドライン (IEEE、ICNIRP または FCC) を上回る可能性があります。

韓国の場合: 比吸収率 (SAR): このミッション クリティカルな機器は、一般消費者向けではなく、業務上の利用のみに限定されており、適用法令で定められた 8W/kg 1 グラムの業務 SAR 制限に準拠しています。

韓国の場合: ご利用時の身体までの距離: この機器を使用している間、身体からは少なくとも 1.5cm 離すようにしてください。

サービス情報

デバイスに問題が発生した場合は、地域担当の Motorola Solutions グローバル カスタマー サポート センターにお問い合わせください。

お問い合わせ先は、<http://www.motorolasolutions.com/support> に記載されています。サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号 (製造ラベルに記載)
- モデル番号または製品名 (製造ラベルに記載)
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

修理サービスのために Motorola Solutions にデバイスを返却する場合は、デバイスを出荷する前に、次の項目が完了していることを確認してください。

- 個人情報や連絡先情報を含む、デバイスの完全なバックアップを実行する
- SIM カードをデバイスから取り外す
- SD メモリ カードをデバイスから取り外す (該当する場合)
- CRYPTR micro SD カードをデバイスから取り外す (該当する場合)
- すべての個人情報や機密データをデバイスから消去/ワイプする

破損したデバイスのみを返却してください。バッテリー、バッテリー カバー、充電ケーブル、ホルスタなどのアクセサリは、返却時にデバイスに同梱しないでください。

法規制に関する情報

LEX L11j 規制ラベルは、[設定] → [端末情報] → [規制ラベル] にあります。



注記: [設定] に規制ラベルがない場合は、LEX L11j バッテリー ケースで物理的な規制ラベルを確認できます。

供給元の適合宣言

Per FCC CFR 47 Part 2 Section 2.1077(a)



責任者

名前: Motorola Solutions, Inc.

住所: 1303 East Algonquin Road, Schaumburg, IL 60196-1078, U.S.A.

電話番号: 1-800-927-2744

ここに以下の製品:

モデル名: LEX L11j

が以下の規制に適合していることを宣言します。

FCC Part 15、subpart B、section 15.107(a)、15.107(d) および section 15.109(a)

Class B デジタル デバイス

パーソナル コンピュータの周辺機器として、このデバイスは FCC の パート15 に適合します。このデバイスは、カナダ産業省ライセンス免除 RSS 標準に適合します。この機器の動作は次の 2 つの条件を前提としています。

1 この機器は有害な干渉を発生しません。

2 この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けます。

この機器は、FCC ルール パート 15 およびカナダ産業省ライセンス免除 RSS 規格に適合し、クラス B デジタル機器に関する制限に従ってテストされ、これに準拠するものと認定されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波干渉を起こさないために規定されたものです。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な電波干渉を引き起こすおそれがあります。ただし、これは特定の設置状況で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。

この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こし、機器の電源のオン/オフ操作によってそのことが確認できる場合、次のいずれかの方法を用いて、お客様ご自身で電波障害の解決を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または場所を変えてください。
- 本機器と受信機の距離を離してください。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに本機器を接続してください。
- 販売店またはテレビ/ラジオの専門技術者に相談してください。

このトランスミッタは、他のアンテナまたはトランスミッタと一緒に配置したり、一緒に操作したりしないでください。

カナダの場合: 5.15 ~ 5.25Ghz 帯域での操作は、屋内使用のみに制限されています。

この機器は、FCC ルールパート 15E、セクション 15.407 に指定されているその他すべての要件を満たしています。

ワイヤレス機器の各国での承認規制に関するマークは、認証を受けることを条件に、使用する無線が、米国で承認されている機器に付けられています。規制の承認を受けていない機器を操作することは違法です。

国別コード選択の使用状況 (WLAN デバイス)



注記: 国コードの選択は、米国以外のモデルのみであり、すべての米国モデルでは使用できません。FCC ルールに従い、米国内で販売されているすべての WiFi 製品は、米国の動作チャンネルのみに固定する必要があります。

カナダ産業省 WLAN 宣言



注意:

- (i) 5150 ~ 5250MHz の帯域で動作する機器は、同一チャンネルのモバイル サテライト システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすために屋内でのみ使用するようになしてください。
- (ii) 5250 ~ 5350MHz および 5470 ~ 5725MHz の帯域の機器で許容される最大アンテナ ゲインは、e.i.r.p. 制限に適合するものとします。
- (iii) 5725 ~ 5850MHz 帯域の機器に許容される最大アンテナ ゲインは、必要に応じて、ポイント ツー ポイントおよび非ポイント ツー ポイント動作で指定される e.i.r.p. 制限に準拠するものとします。
- (iv) セクション 6.2.2 (3) に規定されている e.i.r.p. の仰角マスク要件に準拠するために必要な最悪な場合の傾斜角は、明確に示すこととする。
- (v) ユーザーは、高出力レーダーが、5250 ~ 5350MHz および 5650 ~ 5850MHz 帯域のプライマリ ユーザーとして (つまり、優先ユーザー) 割り当てられること、さらにこれらのレーダーが LE-LAN 機器への干渉および/または損傷を引き起こす可能性がある事も通知されるものとします。

補聴器での使用

この電話機は、使用されているワイヤレス テクノロジーのいくつかについて、補聴器で使用するためにテストされ、評価されています。しかし、この電話機では、まだ補聴器での使用がテストされていない新しいワイヤレス テクノロジーがいくつかあります。補聴器や人工内耳を使用して、この電話機のさまざまな機能を徹底的に、さまざまな場所で試して、干渉音が聞こえるかどうかを判断することが重要です。補聴器の両立性に関する情報については、サービス プロバイダまたはこの電話機のまたは製造元にお問い合わせください。返品または交換の規定について質問のある場合は、サービス プロバイダまたは電話の製造元にお問い合わせください。

WD と特定の補聴器の両立性を確認するには、補聴器カテゴリの数値部分 (例えば、M2/T2=2) に、WD 放出定格の数値部分 (例えば、M3=3) を単純に追加して、この特定の WD と補聴器の組み合わせのシステム分類を作成します。合計が 5 の場合は、WD と補聴器が通常の使用を提供することを示し、合計が 6 以上の場合は、WD と補聴器が優れた性能を提供することを示します。カテゴリの合計が 4 未満の場合は、補聴器のユーザーによって受け入れられないと判断される性能になる可能性があります。

補聴器の両立性

連邦通信委員会は、補聴器を装着した人々がこれらの無線通信機器をより効果的に使用できるようにするためのルールおよび評価システムを施行しました。デジタル携帯電話機と補聴器との両立性の規格は、米国規格協会 (ANSI) 規格 C63.19 で規定されています。ANSI 規格には、1 ~ 4 の格付け (4 が最も高い格付け) を持つ次の 2 つの規格があります。補聴器のマイクを使用しているときに電話機での会話を聞きやすくするために干渉を低減する「M」格付けと、テレコイル モードで動作する補聴器と共に電話機を使用することで、不要な背景雑音を低減することができる「T」格付けです。

携帯電話機と補聴器との両立性を調べる

補聴器の両立性の格付けは、携帯電話ボックスに表示されます。

音響結合 (マイク モード) の場合は、電話機が「M3」または「M4」の格付けであれば、補聴器両立性があると見なされます。誘導結合 (テレコイル モード) の場合は、デジタル携帯電話機が「T3」または「T4」の格付けであれば、補聴器両立性があると見なされます。

この機器 (FCC/IC ID: AZ489FT7104/109U-89FT7104) のテスト済みの M 格付けおよび T 格付けは、M4 および T3 です。

補聴器が特定のデジタル携帯電話で動作するかを調べる

お使いの補聴器とうまく機能する携帯電話機を決定するために、いくつかの携帯電話機を試してみましょう。干渉の影響をどの程度受けるのか、お使いの補聴器に携帯電話機のシールドがあるかどうか、および補聴器に HAC 格付けがあるかどうかについて、補聴器の専門家に相談することもできます。

バージョン

このガイドでは、さまざまなソフトウェア構成について取り上げ、オペレーティング システムまたはソフトウェアのバージョンについて言及しています。

オペレーティング システムのバージョン、ソフトウェアのビルド番号、およびカーネルのバージョンを調べるには、[設定]、[端末情報] の順にタップします。

表記規則

このマニュアルでは、次の表記規則を使用しています。

斜体は、次の項目の強調に使用します。

- 画面上のアイコン
- 本書および関連文書の章およびセクション

太字は、次の項目の強調に使用します。

- ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
- ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
- チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
- キーボード上のキー名
- 画面上のボタン名

中黒（・）は、次を示します。

- 実行する操作
- 代替方法のリスト
- 実行する必要があるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順：

順番どおりに実行する必要がある手順：（順番を追った手順：）は、番号付きのリストで示されます。

アイコン表記

このドキュメント一式では、視覚的にわかりやすくする工夫が施されています。

ドキュメント一式の全体を通じて、次のグラフィックアイコンが使用されています。ここで使用されているアイコンとその意味は次のとおりです。



警告: 「警告」という単語と、それに関連付けられた安全のアイコンは、無視すると、死傷事故や製品の重大な破損を招くような状況を知らせる情報であることを示します。



注意: 「注意」という単語と、それに関連付けられた安全のアイコンは、無視すると、軽度または中度の傷害や製品の重大な破損を招くような状況を知らせる情報であることを示します。



注記: 「注」には、例外や前提条件など、前後のテキストより重要な情報が記載されています。

また、詳細情報の参照先を紹介し、操作の完了方法を確認し（例えば、現在説明している手順：の一部でない場合）、特定の画面要素が画面のどこに表示されているかを示すこともあります。

「注」には、警告レベルはありません。

1章: はじめに

この章では、LEX L11j デバイスの機能および初回起動前にデバイスを設定する方法について学習できます。

1.1 デバイスの概要

このセクションでは、LEX L11j デバイスの概要を説明します。

図 1: LEX L11j の概要

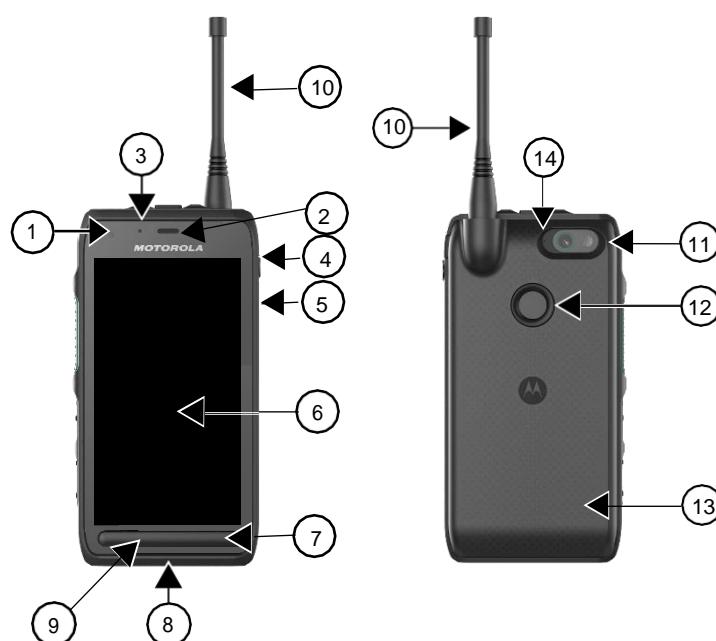


表 3: LEX L11j の背面および前面

番号	項目
1	前面カメラ
2	イヤピース スピーカ
3	前部マイク #1
4	オーディオ ジャック
5	SIM カード トレイ
6	ディスプレイ
7	ラウドスピーカ
8	USB ポート
9	前部マイク #2
10	外部アンテナ

 注記: アンテナはバンド クラス 8 に対応しています。

番号	項目
11	背面カメラとフラッシュ
12	指紋センサー *MCAアドバンスでは使用しません。
13	バッテリー カバー
14	後部マイク

図 2: LEX L11j 上部



表 4:LEX L11j 上部

番号	項目	説明
1	外部アンテナ	LEX L11j の外部アンテナ。
2	トークグループ ロッカー	MCAアドバンスでは使用しません
3	LED	LED ライトは、LEX の画面がオフになっている場合でも、情報を伝達するための通知ランプとして機能します。LED 通知の詳細については、「 バッテリー充電インジケータ 」を参照してください。
4	[緊急] ボタン	MCAアドバンスでは使用しません。

図 3: LEX L11j サイド ボタンの概要

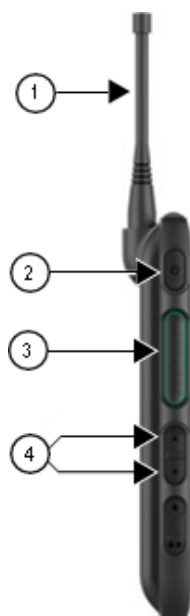


表 5:LEX L11j サイド ボタン

番号	ボタン	機能
1	外部アンテナ	LEX L11j の外部アンテナ。
2	電源ボタン	電源ボタンを長押しすると、デバイスが起動します。デバイスが起動しているときに電源ボタンを長押しすると、電源ボタンメニューが表示されます。短押しすると、ディスプレイのオンとオフが切り替わります。
3	PTTボタン	プッシュトゥートーク (PTT) をサポートするように設計されているPTT アプリケーションで使用する場合、押し続けると、すべてのデバイス モード (アクティブ、ロック、一時停止) で PTT 通話の送信が可能になります。
4	音量アップおよび音量ダウンボタン	オーディオの音量を制御します。

1.2 パッケージの内容

LEX L11j パッケージの内容は次のとおりです。

- LEX L11j デバイス
- 大容量バッテリー (対応バッテリー カバー付き)
- USB-C to USB-C データ/電源ケーブル
- 背面カバー
- 『LEX L11j ミッションクリティカル LTE デバイス クイック スタート ガイド』
- ミッション クリティカルな機器に関する RF エネルギー被曝トレーニングおよび製品安全性情報

1.3 デバイスの設定

手順:

1. デバイスからスクリーン保護フィルムを取り除きます。



NOTICE: デバイスからスクリーン保護フィルムを取り除くと、適切な音響性能が得られません。

2. SIM カードを取り付けます。[[SIM カードの挿入](#)]を参照してください。
3. Optional: microSD または CRYPTR カードを取り付けます。[[microSD カードの取り付け](#)]を参照してください。
4. バッテリーを取り付けます。[[バッテリーの取り付け](#)]を参照してください。
5. バッテリー カバーを取り付けます。[[バッテリー カバーの取り付け](#)]を参照してください。
6. デバイスを充電します。[[充電情報](#)]を参照してください。

1.3.1 デュアル SIM 機能

LEX デバイスは、2 つの異なるネットワーク (MCAアドンバス/MVNO) で動作することができます。



注記: このデバイスはデュアル SIM 機能をサポートしています。

少なくとも 1 枚の SIM カードをいずれかのスロットに挿入する必要があります。



注記: SIM カードトレイに SIM カードが 1 つしかない場合は、その SIM カードが自動的に選択されます。

1.3.2 SIM カードの挿入

1 枚または 2 枚の Nano SIM カードを SIM トレイに挿入することができます。

手順:

1. 爪を使って、Nano SIM カード サイド トレイを引き出します。
Nano SIM カード サイド トレイは、LEX L11j デバイスの側面のオーディオ ポートの下にあります。
2. 電話のディスプレイを下にして、SIM カード トレイに Nano SIM カードを挿入します。
3. SIM カードが完全に装着されて平らになるまで、トレイに押し込みます。
4. Nano SIM カード トレイをデバイスに戻します。

1.3.3 SIM カードの取り外し

次の手順: に従って、Nano SIM カード ホルダから Nano SIM カードを取り外すことができます。

手順:

1. 爪を使って、Nano SIM カード サイド トレイを引き出します。
Nano SIM カード サイド トレイは、LEX L11j デバイスの側面のオーディオ ポートの下にあります。
2. SIM カード トレイから Nano SIM カードを取り外します。
3. Nano SIM カード トレイをデバイスに戻します。

1.3.4 microSD カードの取り付け

次の手順: に従って、microSD カード（メモリ カード、または CRYPTR マイクロ暗号化カードなど）をデバイスに取り付けることができます。

次の図は、LEX デバイスに microSD カードを挿入する方法を説明しています。

図 4: MicroSD カードの挿入



手順:

1. [電源] ボタンを押し続けます。
2. [電源オフ] をタップします。[OK] をタップします。
3. バッテリー カバーを取り外します。「[バッテリー カバーの取り外し](#)」を参照してください。
4. バッテリーを取り外します。「[バッテリーの取り外し](#)」を参照してください。
5. 指の爪を使用して microSD カード プラグを取り外します。
6. ダミーの microSD カードが microSD プラグに挿入されている場合は、それを取り外して、microSD カードと交換してください。
7. 次の操作を実行して microSD カードを挿入します。
 - a microSD カードを microSD プラグに挿入します (1)。
挿入の角度は 45 度にする必要があります。microSD カードの金属端子を下にして挿入する必要があります。
 - b MicroSD カードを押し下げ、完全に装着されていることを確認します (2)。
 - c MicroSD カードが完全に装着されていて、フラットな状態になっている (3) 場合は、プラグが付いたカードを、接触面を上にしてカード ホルダ スロットに差し込みます。
8. バカードが完全に装着され、所定の位置に固定されるまでカードをスロットに押し込みます。
9. バッテリーを挿入します。「[バッテリーの取り付け](#)」を参照してください。
10. バッテリー カバーをデバイスの背面にはめます。

1.3.5 microSD カードの取り外し

手順:

1. [電源] ボタンを押し続けます。
2. [電源オフ] をタップします。[OK] をタップします。
3. バッテリー カバーを取り外します。[[バッテリー カバーの取り外し](#)] を参照してください。
4. バッテリーを取り外します。[[バッテリーの取り外し](#)] を参照してください。
5. 爪を使用して microSD カード プラグを取り外します。
6. microSD カードをカード プラグから取り出します。
7. カード プラグをカード ホルダ スロットに再度取り付けます。
8. バッテリーを挿入します。[[バッテリーの取り付け](#)] を参照してください。
9. バッテリー カバーをデバイスの背面にはめます。[[バッテリー カバーの取り付け](#)] を参照してください。

1.3.6 バッテリーの取り付け



注意: デバイスが水没し、バッテリーを取り外した場合は、必ずバッテリー ケースを完全に乾かしてから、バッテリーを再挿入してください。完全に乾いていないと、デバイスが破損します。

手順:

1. デバイスの初期設定を実行している場合は、パッケージからバッテリーを取り外します。
2. バッテリー カバーが付いている場合は、慎重にデバイスから取り外します。[[バッテリー カバーの取り外し](#)] を参照してください。
3. デバイスの背面にあるスライダが、ロック解除位置にある（バッテリーから離れる）ことを確認します。
4. 最初にバッテリーの上部（コネクタのある場所）を取り付け、バッテリーをバッテリー ケースに挿入します。
5. バッテリーの上部を押して固定します。
6. スライダを上動かしてロックします。
7. バッテリー カバーを取り付けます。[[バッテリー カバーの取り付け](#)] を参照してください。

1.3.7 バッテリーの取り外し

手順:

1. バッテリー カバーを慎重に取り外します。[[バッテリー カバーの取り外し](#)] を参照してください。
2. デバイスの背面にあるスライダが、ロック解除位置にある（バッテリーから離れる）ことを確認します。
3. 親指と人差し指の先端で、バッテリーの底部にあるタブを持ち上げて、バッテリーを取り外します。
4. バッテリー カバーをデバイスの背面にはめます。

1.3.8 バッテリー カバーの取り付け

手順:

1. バッテリー カバーをデバイスの背面に置き、次の図に示す順序で押しします。

図 5: LEX L11j バッテリー カバー



2. バッテリー カバーのすべての留め具が、完全にはめ込まれていることを確認します。

1.3.9 バッテリー カバーの取り外し

手順:

1. デバイスをしっかり押さえます。
2. バッテリー カバーの取り外しスロットを使用して、バッテリー カバーを慎重に持ち上げて離します。

図 6: バッテリー カバーの取り外しスロット

バッテリー カバーの取り外しスロットは、1 と記載されているところです。



1.3.10 アンテナの取り付け

手順:

1. デバイスをしっかり押さえます。
2. 本体のSMAオス・コネクタにアンテナのSMAメス・コネクタを垂直に接合して右にゆっくり回し揺らぐことなくきっちりと止まるまで締めます。締めすぎないように注してください。

図 7: アンテナの取り付け



1.3.11 アンテナの取り外し

手順:

1. デバイスをしっかり押さえます。
2. アンテナをゆっくり左に回し取り外します。この時、アンテナが締め付けられている場合がありますので、力を入れすぎて破損しないように注意してください。

図 8: アンテナの取り外し



1.4 電源オン

手順:

- [電源] ボタンを押し続けます。
- デバイスが起動します。

1.5 電源オフ

手順:

1. [電源] ボタンを押し続けます。
[電源ボタン] メニューが表示されます。
2. [電源オフ] をタップします。

1.6 デバイスの再起動

手順:

1. [電源] ボタンを押し続けます。
2. 表示されるメニューから、[再起動] を選択します。
デバイスが再起動します。

1.7 充電情報

LEX L11j を初めて使用する前に、充電台、または付属の USB 充電器と USB ケーブルを使ってバッテリーを充電します。



注記: LEX デバイス アクセサリの詳細な説明、設置、および操作手順: については、各アクセサリに付属するクイック スタート ガイドを参照してください。

バッテリーの充電可能温度は、0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F) です。LEX L11j は、充電プロセスを制御します。LEX L11j は、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常温度により充電が無効になった場合、LEX L11j LED が黄色で速く点滅 (2 秒に 1回) して示します。

1.7.1 バッテリー充電インジケータ


LEX デバイスの前面上部にある充電と通知の LED は、バッテリーの充電状態とパワーレベルを示します。ステータス バーのバッテリー アイコンには、バッテリーの充電とパワー レベルが表示されます。



注記: バッテリー充電レベルを確認する前に、すべての電源 (クレードルまたは USB ケーブル接続) からデバイスを取り外します。

LEX L11j デバイスの充電と通知 LED の場所については、[「デバイスの概要」](#)を参照してください。

表 6:LEX L11j 通知 LED










状態	表示
オフ	<p>バッテリーは充電されていません。次のいずれかであることを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイスがクレードルに正しく挿入されていない。 • デバイスが USB ケーブルに接続されていない。 • 充電器またはクレードルに電源が供給されていない。
青色の点滅	<p>新しい通知：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新着ボイス メール • 新着通知（Android アプリの通知など） • 新着 SMS または MMS • 新着電子メール • 不在着信
緑色の点灯	<p>バッテリーは完全に充電されています。</p> <p> 注記: デバイスが USB、デュアル ユニット充電器（DUC）、またはマルチユニット充電器（MUC）に接続されている場合にのみこの状態になります。</p>
赤色でゆっくり点滅	低バッテリー通知 (10% 以下)。
赤色の点灯	バッテリーは充電中です。
赤色で速く点滅	<p>充電エラー：</p> <ul style="list-style-type: none"> • バッテリー充電温度が低すぎるか、または高すぎます • バッテリーが無効です

バッテリー残量が定義済みのレベルを下回ると、アイコンにその状態が示され、バッテリーの状態を示すバッテリーダイアログ ボックスが表示されます。メッセージは、[消去] をタップするまで表示されます。バッテリーの使用状況を監視する場合は、アプリケーションのメニューで、[設定] をタップし、[バッテリー] をタップします。

1.8 ステータス バーのアイコン

ステータス アイコンを使用すると、LEX デバイスで発生しているアクションのステータス情報が表示されます。

表 7:ステータス バーのアイコン

アイコン	説明
	バッテリーが完全に充電された状態であることを示します。
	バッテリー残量が少ない（20% 以下）であることを示します。
	バッテリーが充電中であることを示します。
	アラームが有効であることを示します。
	Bluetooth サービスがオンになっていることを示します。
	デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されていることを示します。
	Wi-Fi 信号がないことを示します。
	メディアとアラーム以外のすべてのサウンドがサイレンスに設定され、バイブ モードが有効になっていることを示します。
	機内モードがアクティブであることを示します。
	位置サービスがオンになっていることを示します。
	ファイルがデバイスにダウンロードされたことを示します。
	ファイルがデバイスから送信されたことを示します。
	[通知を非表示] がオンになっていることを示します。
	モバイル ネットワーク信号の強度を示します。
	許可されていない SIM カードが挿入されていることを示します。
	SIM カードが存在しないことを示します。
	ハウリング抑制がオンになっていることを示します。

2章：無線

このセクションでは、LEX L11j デバイスの無線機能について説明します。

2.1 Bluetooth モード

Bluetooth 無線はデフォルトでオフになっています。

次のモードが利用可能です。

サスペンド

デバイスがサスペンド モードに移行すると、Bluetooth 無線はオンのままとなります。

機内モード

デバイスを機内モードに設定すると、Bluetooth 無線がオフになります。機内モードが無効になると、Bluetooth 無線は前の状態に戻ります。機内モードのとき、必要に応じて Bluetooth 無線を元の状態に戻すことができます。

2.2 Bluetooth の有効化

手順：

1. ホーム画面を上からスワイプし、[設定] をタップします。
2. [接続済みデバイス] をタップし、[接続の優先設定] をタップします。
3. [Bluetooth] (Bluetooth) をタップします。
4. スライダをオンに切り替えて、Bluetooth を有効にします。
緑色のスライダは、機能が有効になっていることを示します。

2.3 Bluetooth の無効化

手順：

1. ホーム画面を上からスワイプし、[設定] をタップします。
2. [接続済みデバイス] をタップし、[接続の優先設定] をタップします。
3. [Bluetooth] (Bluetooth) をタップします。
4. スライダをオフに切り替えて、Bluetooth を無効にします。
グレーのスライダは、機能が無効になっていることを示します。

2.4 デバイス名の変更

LEX デバイスではデフォルトで汎用の Bluetooth 名が使用され、接続されると他のデバイスにその名前が表示されます。

前提条件: Bluetooth がオフになっていることを確認します。

手順：

1. ホーム画面を上からスワイプし、[設定] をタップします。
2. [接続済みデバイス] をタップし、[接続の優先設定] をタップします。
3. [Bluetooth] (Bluetooth) をタップします。
4. [デバイス名] をタップし、新しいデバイス名を入力します。[名前の変更] をタップします。

2.5 LEX と Bluetooth デバイスのペアリング

LEX デバイスは、他の Bluetooth 対応デバイスとペアリングされているときにデータを送受信できます。

前提条件: 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていること、および LEX とペアリングするデバイスが検出可能モードになっていることを確認します。


手順:


1. ホーム画面を上から下にスワイプし、[設定] をタップします。
2. [接続済みデバイス] をタップし、[新しいデバイスのペアリング] をタップします。
3. 表示されたデバイスのリストから、LEX L11 と接続するデバイスを選択します。
[ペアリング要求] ダイアログ ボックスが表示されます。
4. 両方のデバイスのパス キーを比較し、両方のデバイスで [ペア] をタップします。
そのデバイスが [ペアリング済みデバイス] リストに追加されます。
5. ペアリング済みデバイスをセキュア デバイスとして追加します。

2.5.1 Bluetooth デバイスの管理

デバイスの名前を変更したり、連絡先を共有したりするなど、LEX とペアリングされている Bluetooth デバイスを管理することができます。

手順:

1. ホーム画面を上から下にスワイプし、[設定] をタップします。
2. [接続済みデバイス] をタップし、[以前接続したデバイス] をタップします。
3. 目的のデバイスの横にある  をタップします。
4. 接続済みデバイスを管理します。

条件...	対処...
デバイスの名前を変更する場合は、	次の操作を実行します。 a  をタップします。 b [デバイス名] ウィンドウで新しい名前を入力し、[名前の変更] をタップします。ます。
デバイスをペアリング解除する場合は、	[切断] をタップします。
デバイスと連絡先を共有する場合は、	[連絡先の共有] スライダをオンに切り替えます。
インターネット アクセスを有効にする場合は、	[インターネット アクセス] スライダをオンに切り替えます。

2.6 Wi-Fi ネットワークへの接続

Wi-Fi は、Wi-Fi ルーターとその周辺に応じて、最大 30.48m (100 フィート) の距離にインターネット アクセスを提供する無線ネットワーク テクノロジーです。 LEX デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続すると、インターネットにアクセスすることができます。

手順:

1. ホーム画面を上から下にスワイプし、[設定] をタップします。
2. [ネットワークとインターネット] をタップし、[Wi-Fi] をタップします。
3. [Wi-Fi を使用する] スライダをオンに切り替えて、Wi-Fi を有効にします。
デバイスに使用可能なネットワークのリストが表示されます。
4. リスト内をスクロールして、使用するネットワークを選択します。
5. パスワードを入力して、[接続] をタップします。

新規ネットワークの追加


名前 (SSID) をブロードキャストしない、または範囲外の Wi-Fi ネットワークを追加することができます。

手順:

1. ホーム画面を上からスワイプし、[設定] をタップします。
2. [ネットワークとインターネット] をタップし、[Wi-Fi] をタップします。
3. 以下の操作を実行してネットワークを追加します。
 - a [ネットワークの追加] をタップします。
 - b [ネットワーク名] フィールドに、ワイヤレス ネットワークの SSID を入力します。
 - c [セキュリティ] ドロップダウン リストで、セキュリティの種類を選択します。
 - d [詳細オプションの表示] をタップし、プロキシの詳細と IP を設定します。
4. [保存] をタップします。

ネットワークの編集

手順:

1. [Wi-Fi] ウィンドウで、接続されているネットワークをタップします。
2. [ネットワークの詳細] ウィンドウで、 をタップします。
3. [ネットワークの変更] を選択します。
4. ネットワークの設定を編集し、[保存] をタップします。

ネットワークの切断

記憶された無線ネットワークからデバイスを切断することができます。

手順:

1. [Wi-Fi] ウィンドウで、接続されているネットワークをタップします。
2. [ネットワークの詳細] で、[ネットワークの切断] をタップします。
3. 選択したネットワークからデバイスが切断されます。同じネットワークに再度接続しようとする
と、パスワードの入力を求められます。

2.7 Wi-Fi ホットスポットの設定

LEX デバイスは、ポータブル Wi-Fi ホットスポットとして機能することができます。これにより、LEX デバイスが提供する無線インターネットに 32 台の他のデバイスを接続することができます。

Wi-Fi Access Point モードでは、LEX L11j デバイスは次の 2 つの認証タイプをサポートしています。

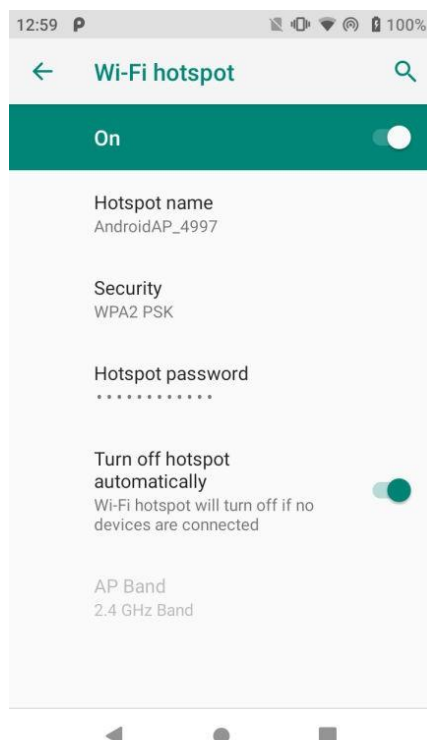
- ・ なし
- ・ WPA2-PSK


前提条件: デバイスがインターネットに接続していることを確認します。

手順:

1. ホーム画面を上からスワイプし、[設定] をタップします。
2. 以下の操作を実行して、Wi-Fi ホットスポットを有効にします。
 - a [ネットワークとインターネット] をタップし、[ホットスポットとテザリング] をタップします。
 - b [Wi-Fi ホットスポット] をタップします。
 - c スライダーの位置を切り替えてホットスポットを有効にします。

図 9:[Wi-Fi ホットスポット] メニュー



3. 次の操作を実行して、Wi-Fi ホットスポットを設定します。
 - a [ホットスポット名] をタップし、ネットワーク名を入力します。[OK] をタップします。
 - b [セキュリティ] をタップし、セキュリティ方式を選択します。
 - c [ホットスポットのパスワード] をタップし、適切なパスワードを入力します。[OK] をタップします。
 注記: [セキュリティ] フィールドで [なし] を選択した場合、パスワードは要求されません。
 - d [AP 帯] をタップし、[2.4 GHz 帯] と [5 GHz 帯] のいずれかを選択します。
SIM カードなしの場合は、2.4GHz 帯のみサポートされています。

2.8 Bluetooth テザリングの有効化

この手順: では、Bluetooth をテザリングして、ホスト コンピュータとデータ接続を共有できます。

前提条件: Bluetooth を使用してネットワーク接続を取得するようにホスト コンピュータを設定します。詳細については、ホスト コンピュータのマニュアルを参照してください。

手順::

1. LEX デバイスをホスト コンピュータとペアリングします。
「[LEX と Bluetooth デバイスのペアリング](#)」を参照してください。
2. ホーム画面を上からスワイプし、[設定] をタップします。
3. Bluetooth テザリングを有効にするには、次の操作を実行します。
 - a [ネットワークとインターネット] をタップし、[ホットスポットとテザリング] をタップします。
 - b [Bluetooth テザリング] スライダーをオンに切り替えて、USB テザリングを有効にします。

2.9 機内モードの開始


機内モードでは、LEX デバイスによって無線周波数信号の伝送が無効にされます。有効な場合、デバイスは Bluetooth、GPS、電話、または Wi-Fi 接続を確立できません。



注記: 機内モードでは、Bluetooth または Wi-Fi (またはその両方) をオンにすることができます。
「[Bluetooth の有効化](#)」と「[Wi-Fi ネットワークへの接続](#)」を参照してください。

手順::

1. [電源ボタン] メニューが表示されるまで、電源ボタンを押したままにします。
2. [機内モード] ボタンをタップして機内モードを有効にします。

すべての無線がオフであることを示す飛行機のアイコン  がステータス バーに表示されます。

3章：メンテナンスとトラブルシューティング

この章では、デバイスのクリーニング方法と保管方法、およびデバイスの操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

3.1 LEX デバイスの保守

トラブルを避けるため、LEX デバイスの使用中は次の注意事項を守ってください。

手順：

- ・ 画面の表面を引っかいたり、ペン、鉛筆、または他の鋭利な物を使用したりしないでください。
- ・ デバイスを落したり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ・ タッチスクリーンはポリカーボネート製です。
- ・ 極度の高温または低温にさらさないでください。デバイスを暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ・ ほこりや湿気が極端に多い場所では、保管を避けてください。
- ・ デバイスをクリーニングする場合は、レンズ用の柔らかい布を使用してください。ディスプレイが汚れた場合は、薄めたイソプロピル アルコールで湿らせた柔らかい布でクリーニングします。
- ・ バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

3.2 バッテリーの安全に関するガイドライン

デバイスを安全に使用するために、以下のバッテリーの安全に関するガイドラインに従う必要があります。



注意: Motorola Solutions 認定バッテリーを使用しないと、爆発の危険性があります。使用済みの充電式バッテリーは、製造元のガイドラインに従って適切に廃棄してください。

バッテリーの安全性に関する次のガイドラインに従う必要があります。



警告: バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。

- ・ バッテリーの使用、保管、および充電については、このガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- ・ 機器を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質や薬品を置かないでください。
- ・ バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F) に保つ必要があります。
- ・ 互換性のないバッテリーや充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れなどの事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、Motorola Solution サポートにお問い合わせください。
- ・ USB ポートを介して充電する場合は、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみ接続するものとします。
- ・ IEEE1725 の 10.2.1 の要件に従って、承認済みバッテリーを認証できるようにするため、バッテリーにはすべて Motorola のホログラムが付いています。Motorola の認証ホログラムを確認せずにバッテリーを取り

付けないでください。

- ・ バッテリーの分解、外殻を開くこと、粉碎、屈曲、変形、穴開け、寸断などを行わないでください。
- ・ バッテリー駆動式の機器を硬い地面に落として激しい衝撃を与えると、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- ・ 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体に濡らすまたは漬ける、火、爆発物または他の危険物に投入するなどを行わないでください。
- ・ 駐車中の車両内、またはラジエータなどの熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- ・ 子どもがバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- ・ 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に従って廃棄してください。
- ・ バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- ・ バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- ・ 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合は、Motorola Solutions サポートに検査を依頼してください。

3.3 クリーニングのガイドライン

このセクションでは、LEX デバイスのクリーニング ガイドラインについて説明します。



警告: 高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。



注意:

必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコール製品に関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Motorola Solutions に詳細をお問い合わせください。

使用可能な洗剤の活性成分

どのような洗剤であってもその活性成分は、イソプロピル アルコールまたは中性食器洗剤のうちの 1つまたはは組み合わせで構成されている必要があります。

クリーニング方法

デバイスに液体を直接塗布しないでください。柔らかい布にしみ込ませて使用するか、ウェット ティッシュを使用してください。布やウェット ティッシュにデバイスをくるまず、力を入れずにゆっくりと表面を拭きます。

有害成分

多くのビニール製手袋には、医療用途にはお勧めできないフタレート系の添加剤が含有されており、デバイスの筐体には有害であることがわかっています。フタレートを含有する手袋を着用してデバイスを扱わないようにしてください。また、手袋を外した後は、手を洗って汚染残留物を除去してからデバイスを扱ってください。デバイスを扱う前に、エタノールアミンを含有する除菌ローションなど、有害成分を含有する製品を使用していた場合は、樹脂部の損傷を防止するために、手を乾かしてからデバイスを扱うようにしてください。

必要なクリーニング用具

- ・ アルコール脱脂綿
- ・ レンズ用ティッシュ ペーパー
- ・ 綿棒

- ・ イソプロピル アルコール
- ・ 管つき圧縮空気の缶

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーが判断してください。クリーニングは必要に応じて行えますが、パフォーマンスを最適に保つために、埃の多い環境で使用した場合は、カメラ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

3.3.1 デバイスの外側のクリーニング

手順:

- ・ アルコール脱脂綿で、ボタンを含め、筐体を拭きます。
- ・ アルコール脱脂綿で、ディスプレイを拭きます。



注記: ディ스플레이の端の周囲に液体がたまらないようにしてください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

- ・ レンズ用ティッシュ ペーパーまたは光学材料 (メガネなど) のクリーニングに適した用具で定期的にカメラ ウィンドウを拭いてください。

3.3.2 インタフェース コネクタのクリーニング

手順:

1. デバイスの電源を切ります。「[電源オフ](#)」を参照してください。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、インタフェース コネクタの接点に沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。
4. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
5. アルコールが蒸発するまで数分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、デバイスの電源を入れてください。

3.3.3 バッテリーの接点のクリーニング

前提条件: 「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」のバッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

手順:

1. デバイスからメイン バッテリーを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピル アルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタ部分を前後に軽くこすります。端子にコットンの屑が残らないようにしてください。
4. アルコールに浸した綿棒で、端子付近の油分や埃を拭き取ります。
5. 乾いた綿棒を使用して、手順: 4 と 5 を 少なくとも 3 回繰り返します。




注意: 自分や他の人にノズルを向けないでください。ノズルまたはチューブが顔から離れていることを確認してください。

6. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm くらい離してください。
7. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

3.4 LEX デバイスのリセット

この手順: を使用して、LEX デバイスが正常に動作しない場合に、LEX デバイスをリセットすることができます。

手順:


1. デバイスの電源を入れ直して、問題が解消したかどうかを確認します。「[電源オフ](#)」を参照してください。デバイスを再起動します。問題が解決しない場合は、[ステップ 2](#) を実行します。
 **注意:** 重要なデータがデバイスから消去されないようにするため、起動中にはどのボタンも押さないでください。
2. 以下の操作を実行してデバイスを再起動します。
 - a [電源ボタン] メニューが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
 - b [電源ボタン] メニューで、[再起動] をタップします。
デバイスを再起動します。
3. [ステップ 2](#) の方法で解決できなかった場合、画面の電源が切れるまで電源ボタンを 10 秒間長押しして、再起動してください。
4. [ステップ 1](#) から [ステップ 3](#) で説明されているどの方法でも問題を解決できなかった場合は、バッテリーを取り出してもう一度挿入し、問題が解決するかどうか確認してください。
デバイスを再起動します。問題が解決しない場合は、Motorola Solutions サポート センターにお問い合わせください。

3.5 トラブルシューティング

このセクションでは、一般的な問題と問題を解決するための対処方法を示します。

表 8: LEX デバイスのトラブルシューティング

問題	原因	ソリューション
電源ボタンを押しても、デバイスの電源がオンにならない。	バッテリーが完全に放電されている。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
	バッテリーが適切に取り付けられていない。	バッテリーを適切に取り付けます。「 バッテリーの取り付け 」を参照してください。
	電源ボタンを押す時間が十分ではない。	Motorola Solutions のスプラッシュ画面が表示されるまで、電源ボタンを押します。
電源ボタンを押すと、デバイスはオンにならないが、バッテリー充電アイコンが表示される。	デバイスが応答していません。	デバイスをリセットします。「 LEX デバイスのリセット 」を参照してください。
	バッテリーの充電レベルが非常に低い。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
デバイスをケーブルに接続すると、バッテリー充電アイコンが表示される。	バッテリーが放電状態であるが、現在充電中である。	電源ボタンを押したままにして、電源をオンにします。
充電中は、LED が赤色でゆっくり点滅している。	デバイスの電力が非常に不足している状態。	デバイスを数分間充電します。LED が緑色の点滅状態に変化したとき、電源ボタンを押すと、デバイスがオンになります。LED が引き続き赤色で点滅している場合は、電源との接続を確認します。接続部を取り外し、再接続します。
バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでもデバイスが動作しない場合は、ハードウェア リセットを行います。
	バッテリーの充電中に、デバイスが電源から取り外された。	付属のケーブルを使用して、デバイスを付属の充電器に接続します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C (32 °F) 未満になるか 45°C (113 °F) を超えると、バッテリーは充電されません。

問題	原因	ソリューション
デバイスがオフになる。	デバイスが非アクティブである。	ディスプレイは一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。この時間を、15 秒、30 秒、1 分、2分、5 分、10 分、または 30 分に設定します。
	バッテリーが完全に放電している。	バッテリーをもう一度充電するか、交換します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	気温が 0 ° C ~ 45 ° C (32 ° F ~ 113 ° F) の範囲にある場所に、デバイスを移動します。
ストレージのメモリが不十分であることを示すメッセージが表示される。	デバイスにインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーがデバイスにインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。矢印記号からホーム画面を上からスワイプして、  → [アプリ] をタップします。使用していないプログラムを選択して、[アンインストール] をタップします。
通話中にデバイスを顔に近づけても、画面がオフにならない。	デバイス画面が汚れていると、近接センサーの読み取りが妨げられる。	近接センサーのエリアに特に注意して、デバイスの画面を布でクリーニングします。LEX ディ스플레이のクリーニングの詳細については、「 デバイスの外側のクリーニング 」を参照してください。LEX デバイスの近接センサーの正確な位置を確認するには、「 デバイスの概要 」を参照してください。

付録A: Bluetooth プロファイル

LEX デバイスは、幅広い Bluetooth サービスをサポートしています。

表 9: Bluetooth プロファイル

Bluetooth プロファイル	説明
高品質オーディオ配信プロファイル (A2DPSRC)	デバイスがワイヤレス ヘッドセットまたはワイヤレス ステレオ スピーカに、ステレオ品質のオーディオをストリーミングできるようにします。
ハンズフリー プロファイル (HFP AG)	電話通話に使用される車載キットおよび Bluetooth ヘッドセットの機能を提供し、操作(開始、応答、終了、その他)を制御します。
ヘッドセット プロファイル (HSP AG)	電話をかけた後、通話に応答したり、電話を切ったり、音量を調整したりする機能を備えた携帯電話で使用される一般的な Bluetooth ヘッドセットをサポートします。
ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル (HID Host)	Bluetooth キーボード、ポインティング デバイス、ゲーミング デバイス、およびリモート監視デバイスをデバイスに接続します。
シリアル ポート プロファイル (SPP Dev A, Dev B)	仮想シリアル ポートをセットアップして、2 つの Bluetooth 対応デバイスを接続します。例えば、デバイスをプリンタに接続します。
一般アクセス プロファイル (GAP)	このプロファイルでは、Bluetooth 対応デバイスがどのように使用できるか、および 2 つのデバイスが相互に直接通信できる方法を定義します。
サービス ディスカバリ アプリケーション プロファイル (SDAP)	アプリケーションが、SDP を使用してリモートデバイス上のサービスを検出する方法について説明します。
ダイヤルアップ ネットワーク (DUN GW) プロファイル	デバイスが、他のデバイスとインターネット接続を共有できるようにします。
一般オブジェクト交換プロファイル (GOEP)	他のデータ プロファイルの基礎を提供します。
オブジェクト プッシュ プロファイル (OPP クライアント/サーバー)	デバイスがプッシュ サーバーとの間でオブジェクトをプッシュまたはプルできるようにします。
一般オーディオ/ビデオ配信プロファイル (GAVDP)	A2DP と VDP の基礎を提供します。このプロファイルは、イニシエータ (INT) とアクセプタ (ACP) の 2 つの役割を定義します。
メッセージ アクセス プロファイル (MAP MSE)	デバイス間でメッセージを交換できます。
オーディオ/ビデオ リモート コントロール プロファイル (AVRCP TG)	リモート デバイスがローカル デバイス上のオーディオ再生を制御できるようにします (例: 再生、一時停止、停止、音量調整)。

Bluetooth プロファイル	説明
電話帳アクセス プロファイル (PBAP PSE)	車載キットと携帯電話の間で電話帳オブジェクトを交換できるようにし、車載キットで着信通話の発信者の名前を表示したり、電話帳をダウンロードしてユーザーが車載ディスプレイから通話を開始したりできるようにします。
ファイル転送プロファイル (FTP サーバー)	ローカル ファイル システムをリモート デバイスに公開する機能を提供します。この機能では、ファイルを操作して転送することができます。
パーソナル エリア ネットワーク (PAN NAP/PANU) プロファイル	デバイスが他のデバイス (例えば、ラップトップ) とインターネット接続を共有し、別のデバイス (例えば、Bluetooth 対応電話) で共有されるインターネットにアクセスできるようにします。
プロキシミティ プロファイル (PXP モニタ)	2 つのデバイス間の近接監視を有効にします。
ヘルス デバイス プロファイル (HDP)	医療機器データの送受信を可能にします。
SIM アクセス プロファイル (SAP)	内蔵 GSM トランシーバを搭載したデバイスが、Bluetooth 対応の電話機の SIM カードに接続できるようにします。これらのデバイスには、個別の SIM カードを使用する必要はありません。
一般属性 (GATT) および属性プロトコル (ATT)	Bluetooth Low Energy プロトコルのプロファイル検出および説明サービスを許可します。

付録B：技術仕様



注記: 仕様は変更されることがあります。

表 10: 技術仕様

項目	仕様
物理的仕様	
寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	152.5 x 78 x 19.2mm (6.0 x 3.07 x 0.75 インチ)
重量	325g (11.46 オンス)
耐久性	すべての面/端/角を高さ 120cm (48 インチ)から平らなコンクリートの上に複数回落下させた後でも動作し続けます。
ディスプレイ	画面サイズと画素数: 5 インチ (720 x 1280) 最小輝度: 550nit 標準輝度: 640nit タッチ: マルチタッチ、ラテックス手袋をサポートする静電容量型タッチパネル
物理キー	音量アップ ボタンとダウン ボタン PTT ボタン 緊急ボタン グループ ロッカー制御 (上/下) 電源 (オン/オフ) ボタン 2 個のプログラム可能ボタン
動作温度	-20° C ~ 55° C (-4° F ~ 131° F)
保管温度	-46° C ~ 85° C (-50° F ~ 185° F)
ハードウェア	
プロセッサ	2 x 4-コア Qualcomm Kryo 260 CPU (1.8 ~ 2.2GHz)
チップセット	Qualcomm Snapdragon 660
メモリ	4 GB LPDDR4 SDRAM 64 GB eMMC
カメラ	リア 13MP カメラ (オートフォーカス) フロント 8MP カメラ (固定フォーカス)
フラッシュ	背面 カメラ LED フラッシュ (懐中電灯機能付き)

項目	仕様
センサー	環境光センサー 指紋センサー 気圧センサー 近接/ジェスチャー センサー 加速度センサー 磁力計センサー ジャイロ
ポート	3.5 mm オーディオ ジャック (ステレオ) 2 つの nano SIM スロット 1 つの microSD スロット (microSD、microSDHC、microSDXC、最大容量 400 GB) USB Type-C
バッテリー	大容量 – 5000mAh (公称電圧 3.7V)
マイク	3 つのマイク (1 次、2 次、3 次)、ノイズおよびエコー除去機能付き。
ソフトウェア	
オペレーティング システム	Android Pie 9.0 Google、Google Play、Android、およびその他の商標は、Google Inc. の商標です。
メッセージング	SMS/MMS 電子メール
Web	HTML5/WAP 2.0 準拠 AOSP WebKit ブラウザ Chrome ブラウザ
ワイド エリア ネットワーク	
標準規格	FDD-LTE/TDD-LTE/HSPA+
LTEリリース	LTE 3GPP リリース 11 の機能およびリリース 12 および 13 での MCPTT および eMBMSの部分的サポートを含む、カテゴリ 9 対応
LTE帯域	LEX L11j: 1、3、8、19、26
Wi-Fi	
動作周波数帯	2.4GHz、5GHz
標準規格	IEEE 標準 802.11-2012 a/b/g/n/ac ホットスポット機能付き (最大接続数 32)

項目	仕様
パーソナル エリア ネットワーク	
Bluetooth	BT 4.2 LE (低エネルギー) + BR/EDR プロファイル: 高品質オーディオ配信プロファイル (A2DP) ハンズ フリー プロファイル (HFP) ヘッドセット プロファイル (HSP) ヒューマン インタフェース デバイス プロファイル (HID) シリアル ポート プロファイル (SPP) 一般アクセス プロファイル (GAP) サービス ディスカバリ アプリケーション プロファイル (SDAP) ダイアルアップ ネットワーク プロファイル(DUN) 一般オブジェクト交換プロファイル (GOEP) オブジェクト プッシュ プロファイル (OPP) 一般オーディオ/ビデオ配信プロファイル(GAVDP) メッセージ アクセス プロファイル (MAP) オーディオ/ビデオ リモート コントロール プロファイル (AVRCP) 電話帳アクセス プロファイル (PBAP) ファイル転送プロファイル (FTP) パーソナル エリア ネットワーク (PAN) プロキシミティ プロファイル (PXP) ヘルス デバイス プロファイル (HDP) SIM アクセス プロファイル (SAP) 一般属性 (GATT) および属性プロトコル(ATT)
GPS	
位置サービス	スタンドアロン GPS アシスト GPS (aGPS) GLONASS GZSS
ビデオとイメージング	
サポート フォーマット	MPEG-4 (.mp4) JPG PNG GIF BMP H.264 H.263
 注記: ビデオおよび画像は、証拠資料用にタイム スタンプが付けられます。	

項目	仕様
音声	
サポート フォーマット	MP3 (.mp3) AMR AMR-NB AMR-WB AAC/AAC+/eAAC LPCM
出力	ラウドネス: 99dBphon (距離: 30cm) デュアル フロント フェーシング スピーカ 最大 1.6W x 2 3.5mm 4 極オーディオ ジャック (ステレオ) コネクタ。以下をサポート: COTS 3.5mm ヘッドセット COTS 3.5mm ヘッドセット (マイク付き) COTS 3.5 ヘッドセット (マイクと Send/End ボタン付き) Motorola Solutions 3.5mm モノラル ヘッドセット (マイクと PTT ボタン付き) Bluetooth 電力クラス 2 - 出力電力 2.5mW (4dBm) Bluetooth 電力クラス 1.5 - 出力電力 10mW (10dBm) BLE 4 および 5 - 出力電力 1mW (0dBm)
入力	3 つのノイズおよびエコー キャンセリングマイク
アクセサリ	
付属アクセサリ	大容量バッテリー (対応バッテリー カバー付き) USB-A to USB-C データ/ クイック スタート ガイド規制/安全ガイド